

(単位：千円)

第9款 消防費							
第1項 消防費							
第1目 常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	職員給与費	383,695	諸収 4,967	378,728	■職員57人分の給与	総務課	
2	常備消防一般事務費	39,916	使手 諸収 1,001 192	38,723	■常備消防に係る一般事務 ■常備消防車両・通信機器の維持管理、新規採用職員研修等	消防本部	
3	救急業務費	5,490		5,490	■災害の被害を最小限に食い止めるための業務及び救命指示センターの運営負担金等	消防本部	
4	上林出張所費	3,714	財産 143	3,571	■上林出張所の維持管理	消防本部	
5	救急救命士育成費	2,619		2,619	■災害、事故等による傷病者の救命率向上を目的として、救急救命士を養成	消防本部	
6	被服更新事業費	713		713	■消防職員の安全を確保するため、防火衣等を更新	消防本部	
7	少年少女消防クラブ事業費	127		127	■小学生を対象とする少年少女消防クラブの活動	消防本部	
8	緊急消防援助隊整備事業費	416		416	■緊急消防援助隊の出動に備え、現地活動を円滑に実施するための資機材の維持管理等	消防本部	
9	消防大学校研修費	150		150	■消防に関する高度の知識・技術を修得するため消防大学校へ入校	消防本部	
	合計	436,840	6,303	430,537			

第2目 非常備消防費							
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	非常備消防一般事務費	31,580		31,580	■非常備消防に係る一般事務 ■消防団員報酬、京都府消防協会への負担金、非常備消防車両の維持管理等 ■本年度から、各分団本部の班長を部長へ格上げ	消防本部	
2	費用弁償	5,506		5,506	■消防団長が招集する訓練に対する手当 ■実火災等の消防団員に対する出動手当	消防本部	

(単位：千円)

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
3	被服更新事業費	4,891	繰入 3,000	1,891	■消防団員の安全を確保するため、活動服及び装備品等を更新 ■本年度、水防活動用の長靴を整備	消防本部	
4	消防団員退職報償金等	55,801	諸収 36,951	18,850	■消防団員の退職報償金及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
5	公務災害費	4,227	諸収 2,251	1,976	■消防団員の公務災害補償費及び消防団員等公務災害補償等共済基金への掛金	消防本部	
6	消防団活動支援事業費	318		318	■操法大会用資機材等を整備	消防本部	
	合計	102,323	42,202	60,121			

## 第3目 消防施設費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	消防施設維持管理費	7,590		7,590	■防火水槽等既設消防施設の維持管理、改修	消防本部	
2	消防車両整備事業費	9,630	府 市債 2,800 5,600	1,230	■老朽化した消防車両、消防ポンプの更新	消防本部	消防1
3	防災基盤整備事業費	34,315	府 市債 7,110 27,100	105	■消防施設の充実を図るため、防火水槽及び消防ポンプ格納庫を整備	消防本部	消防2
4	聴覚・言語障害者向け緊急通報システム整備事業費	3,828		3,828	■聴覚や言語等に障害のある方に対応した緊急通報システムの整備	消防本部	消防3
	合計	55,363	42,610	12,753			

## 第4目 水防費

番号	事項（事業）名	予算額	財源内訳		事項（事業）の概要	担当課	説明資料
			特定財源	一般財源			
1	水防一般事務費	3,128		3,128	■水防に係る一般事務 ■風水害等の消防団員に対する出動手当	消防本部	
	合計	3,128		3,128			

(単位：千円)

第5目 災害対策費								
番号	事項(事業)名	予算額	財源内訳		事項(事業)の概要	担当課	説明資料	
			特定財源	一般財源				
1	災害対策費	14,873	使手 市債	1 7,000	7,872	■防災会議の開催、防災関係団体及び自主防災組織育成に対する補助金 ■防災行政デジタル無線の維持管理 ■本年度、Jアラートの新型受信機の整備	防災課	
2	原子力防災対策費	2,212	府	1,552	660	■原子力防災対策用車両等の維持管理	防災課	
3	災害時応急対策整備事業費	4,041	国	1,868	2,173	■避難所の災害備蓄品の整備 ■土のうステーションの整備	防災課	消防4
4	総合防災訓練事業費	1,989			1,989	■災害時の対応の円滑化と防災意識の啓発を図るため、総合防災訓練を京都府と合同で実施	防災課	消防5
5	由良川水系総合水防演習事業費	660	国	330	330	■国、京都府及び関係市町と合同で由良川総合水防演習を実施	防災課	
	合計	23,775		10,751	13,024			

平成30年度 当初予算 主要事業説明資料

消防1

(単位：千円)

事業名	消防車両整備事業費		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	9,630		2,800	5,600		1,230
目 的 目 標	火災、事故等から市民の生命、身体、財産を守るため、総合的な消防防災体制の確立に努め、市民と共に安全・安心なまちづくりを推進			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				55,015	府補助	地域防災力総合支援事業補助金			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■消防本部の消防車両の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○連絡車（軽自動車） 1台</li> </ul> </li> <li>■消防団用の小型動力ポンプ付積載車等の更新                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○配置後20年を経過した消防団用車両の更新                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・小型動力ポンプ付積載車（普通車） 1台（白道路町）</li> <li>・小型動力ポンプ 2台（小畑町、西方町）</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年10月1日から上林出張所として24時間体制へ移行</li> <li>・経年による老朽化が進行しているため、更新が必要</li> </ul>				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際に安全で円滑な消防活動を展開</li> <li>・複雑多様化する災害に対応</li> <li>・消防団員の士気高揚</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役務 198（手数料、保険料）</li> <li>・備品 9,400（消防車両）</li> <li>・公課 32（自動車重量税）</li> </ul>			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福知山市：毎年2台の消防団車両を更新</li> <li>・舞鶴市：毎年1～2台の消防団車両を更新</li> <li>・宮津市：配置後20年以上経過したものから更新</li> <li>・京丹後市：更新基準年数の設定なし 整備後19～20年を経過したものを更新</li> </ul>				
				担当課・ 担当	消防本部 管理課 施設担当			TEL	42-0119

平成30年度 当初予算 主要事業説明資料

消防2

(単位：千円)

事業名	防災基盤整備事業費		拡充	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	34,315		7,110	27,100		105
目 的 目 標	計画的に整備を進め、消防水利の充実と消防団拠点施設の整備により、災害に強いまちづくりを推進			前年度当初予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				8,328	府補助	豊かな森を育てる府民税市町村交付金		7,110	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防火水槽の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有蓋防火水槽 1基 (里町)</li> <li>○ 無蓋防火水槽 1基 (和木町)</li> <li>○ 建設用地の購入、測量等 (有岡町、味方町)</li> </ul> </li> <li>■ 消防ポンプ格納庫の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消防ポンプ格納庫 1棟 (志賀郷町)</li> </ul> </li> </ul>			背景 経 緯	・ 各種災害に迅速に対応できる出動体制、設備や施設の計画的な整備を行うなど、消防力の充実と維持向上が必要				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防水利の不足している地域に防火水槽を設置することにより、充足率の向上と地域住民への安心・安全に寄与するとともに、災害発生時に迅速な対応を行うことができる環境を整備</li> <li>・ 消防ポンプ格納庫の新設により、車両や資機材の適切な管理と地域防災拠点としての役割や環境を整備</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用 1 (消耗)</li> <li>・ 役務 82 (手数料、保険料)</li> <li>・ 委託 1,881 (測量、登記)</li> <li>・ 工請 31,873 (格納庫、防火水槽)</li> <li>・ 公財 478 (土地)</li> </ul>			市民参加の 状況	・ 自主防災組織が各地で編成される中、新設の防火水槽や格納庫の整備により、訓練参加などの機会が増加				
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 格納庫                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福知山市、京丹後市：建替 1棟/年</li> </ul> </li> <li>○ 防火水槽                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福知山市、宮津市、京丹後市：耐震性有蓋防火水槽 2基/年</li> <li>・ 舞鶴市：耐震性有蓋防火水槽 1基/年</li> </ul> </li> </ul>				
				担当課・ 担当	消防本部 管理課 施設担当			TEL	42-0119

平成30年度 当初予算 主要事業説明資料

消防3

(単位：千円)

事業名	聴覚・言語障害者向け緊急通報システム整備事業費		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	消防・救急体制の充実	3,828					3,828
目 的 目 標	聴覚や言語等に障害のある方が、緊急時に携帯電話等を利用して簡単かつ確実に119番通報できるシステムを構築し、安全・安心なまちづくりを推進			前年度当初予算額					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■聴覚・言語障害者向け緊急通報システム（NET119）</li> <li>○対象者：聴覚や言語等に障害がある方（綾部市在住、在勤、在学者）</li> <li style="padding-left: 20px;">※事前の登録が必要</li> <li>○GPS機能付き携帯電話等であれば、位置情報も伝達可</li> <li>○市内外問わず利用可</li> </ul>			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年4月に「綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」を施行</li> <li>・高齢化や障害者の社会参画の拡大により、様々な状況における音声以外の緊急通報手段が必要</li> </ul>				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚・言語障害者の緊急時における119番通報の簡易化</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役務 996（通信運搬費）</li> <li>・備品 2,832（システム機器）</li> </ul>			市民参加の 状況					
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府内市町村：同様の取組あり</li> </ul>				
				担当課・ 担当	消防本部 警防課 通信指令担当	TEL	42-0119		

平成30年度 当初予算 主要事業説明資料

消防4

(単位：千円)

事業名	災害時応急対策整備事業費		拡充	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進	4,041	1,868				2,173
目 的 ・ 目 標	府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目（食糧、水、毛布等）の計画的な備蓄 土のうステーション整備による浸水被害の未然防止及び軽減、防災対策意識の高揚			前年度当初予算額					
				3,285					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■備蓄食料及び保存水の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○アルファ化米 1,000食</li> </ul> </li> <li>■土のうステーションの整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○土のうステーション 12か所（各地区に1基）</li> <li>○土のう 1,200袋（各土のうステーションに100袋）</li> </ul> </li> </ul>			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度の京都府防災会議において上林川断層による地震発災時の最大避難者想定数16,455人に対する公的備蓄に係る基本的な考え方を整理</li> <li>・府戦略的地震防災対策推進プランによる重点備蓄品目について府と本市とが共同で1/2ずつ備蓄</li> <li>・近年多発する局地的かつ短時間の大雨による浸水被害の発生</li> </ul>				
				期待される 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一定量の資材備蓄による避難所運営の円滑化</li> <li>・浸水被害の未然防止及び軽減、防災対策意識の高揚</li> </ul>				
事業費 内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用 489（消耗、食糧）</li> <li>・備品 3,552（土のうステーション）</li> </ul>			市民参加の 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の運営協力</li> <li>・市民、消防団及び自主防災会等の自助、共助</li> </ul>				
				他市の取組 状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府内市町村：同様の取組あり</li> </ul>				
				担当課・ 担当	防災課 防災担当			TEL	42-4222

平成30年度 当初予算 主要事業説明資料

消防5

(単位：千円)

事業名	総合防災訓練事業費		拡充	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
総合計画 (章)	自然豊かで安全なまちづくり	(節)	防災対策の推進	1,989					1,989
目 的 目 標	京都府との合同開催により、災害時における防災関係機関相互の連携強化及び地域住民の防災意識の高揚を促進			前年度当初予算額					
事業概要	■総合防災訓練 ○日時：平成30年9月2日（日）午前 ○場所：綾部市総合運動公園 ○内容（案） ・地震災害、水害対応訓練 自衛隊・警察・消防等実働機関による救出・救護 情報伝達、住民避難、避難所開設、災害対策本部設置、水防（土のう作成等） ・原子力災害対応訓練 住民避難、安定ヨウ素剤配布、避難退域時検査			背 景 経 緯	・京都府との連携を図るため、平成7年以来の合同開催				
				期待される 効果	・災害対応能力の向上 ・防災意識の高揚				
事業費 内訳	・需用 739（消耗） ・役務 255（保険料、手数料等） ・委託 739（放送設営等） ・使賃 256（車両借上料等）			市民参加の 状況	・自治会、自主防災会が主体となった防災訓練を同日に実施 参加状況：平成28年度 118自治会 5,232人 平成29年度 146自治会 5,499人				
				他市の取組 状況	・府内市町村：同様の取組あり				
				担当課・ 担当	防災課 防災担当			TEL	42-4222